



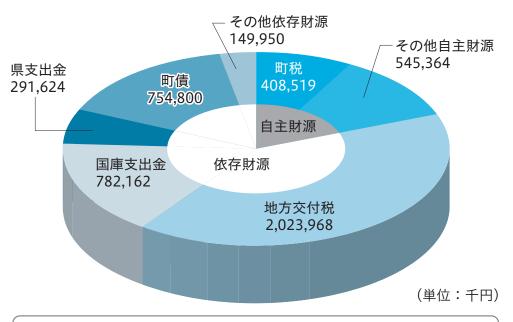


# 65億0,713万7,860円

(前年比 2億7,307万6,281円増)

#### 般会計歳入

49億5,638万9,491円



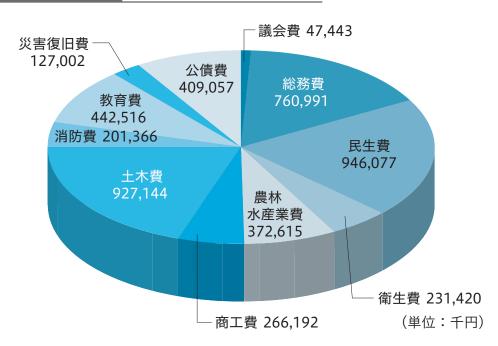
- ○その他自主財源・・・分担金及び負担金、財産収入、使用料及び手数料、寄附金、繰入金、 繰越金、諸収入
- ○その他依存財源・・・地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、 株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、 地方特例交付金、交通安全对策特別交付金、環境性能割交付金、 法人事業税交付金

# 62億4,038万9,242円

(前年比 2億2,888万7,508円増)

#### 般会計歳出

47億3,182万3,339円



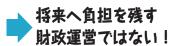
令和2年度歳入歳出決算を認定すべきと決定され、て課長及び係長の説明を受け、慎重に審議した結果9月9日及び10日の2日間にわたり、各会計につ決算特別委員会に付託されました。 歳入歳出決算の審査についや和3年9月定例会初日 会議において認定されました。 会初日 て (9月8日)、

議員10名で構成される9月8日)、令和2年度

# 財政は健全と判断(判断比率が健全化判断基準の範囲内)

#### 財政健全化判断比率

- ○実質公債費率 4.7%
- ○赤字額なし
- ○将来負担及び資金不足 なし



		連結実質 赤字比率 ②			
令和2年度	-	_	4.7%	_	_
令和元年度	_	_	4.5%	_	_
健全化判断基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%	20.0%
備考		、黒字であ 不足がなし			4・5は

## 経常収支比率は82.3%

(適正水準70~80%)

#### 経常収支比率とは?

…地方税、地方交付税等の一般財源(使途が特定されていない収入)が、人件費や公債費(自治体の借金の返済)等、縮減が難しい経費にどの程度費やされているかを示す指標。数値が高いほど、自治体の裁量で使えるお金の割合が少なく、財政が硬直化しているといわれる。

#### 地方交付税・町税ともに微増



#### 経常収支比率は微増の82.3%

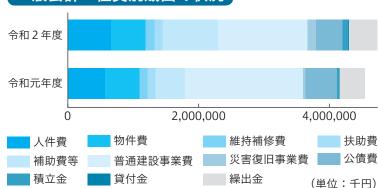


#### 決算審査講評

決算統計や財政健全化判断比率を見ると、実質公債 費比率で4.7% (健全化判断基準は25%)、将来負担比 率も「一」表示(早期健全化基準は350%)となって おり、将来の負担を残す財政運営ではないと判断され ますが、経常的な収入で経常的な経費をまかなう経常 収支比率は82.3%と微増となっており、その標準的な 指標が75%であることなど、財政状況は硬直化へ向か っているところです。令和元年度においては19億5,282 万5千円であったものが、令和2年度においては20億 2.396万8千円と7.114万3千円の増となりました。自主 財源と依存財源の比率では令和元年度自主財源18.6%、 依存財源81.4%であったものが令和2年度においては 自主財源19.2%、依存財源80.8%となっています。今 後とも国、県の補助金や交付税措置される有利な地方 債を活用し、町の振興を図ってください。町民が「住 んでよかった」と思うまちづくりのため、職員一丸と なってご尽力くださいますようお願いします。

柳津町監査委員

#### 一般会計 性質別歳出の状況



- ○消費的経費(人件費、物件費、扶助費等)22億9,718万1千円(48.5%)前年度比較5億693万6千円の増
- ○投資的経費

(普通建設事業費、災害復旧事業費等) 14億9,448万8千円 (31.6%) 前年度比較 3億5,143万4千円の減

○その他(公債費、積立金、繰出金等) 9億4,015万4千円(19.9%) 前年度比較3,566万0千円の増

#### 決算特別委員会 **質疑の内容を一部抜粋して紹介します)**

## 🚺 ふるさと納税の取組みについて

ふるさと納税額は、30年度:89.9万円、令和元年度:73.5 万円、令和2年度:159万円とポータイルサイトを利用した 令和2年から増加しているがまだまだ伸び悩んでいるように 見える。期待した数字になっていないのではないか。また、 本年度の現在の寄付額は?

#### ポータルサイトの利用者数は順調に伸びている

昨年度からポータルサイトに登録し、徐々に件数は増加し ているものの、寄付額の設定が低いため金額が伸び悩んでい る。もう少し高額な返礼品などを設定する予定。

令和3年度は8月末までで90件、147.2万円。その内ポー タルサイト利用した寄付が85件、81.2万円。

### 役場職員のリモートワークについて

新型コロナ対策交付金で410万円相当のパソコンを購入し ているが役場の業務上、リモートワークは難しいと考える が、実行性はあるのか?

#### 他の自治体では実際にリモートワークを A実施している

柳津町については5月以降感染者は発生していないため、 リモートワークは実施していないが、万が一庁内で感染者が 発生した場合にはリモートワークが必要となるため体制を整 備した。

今後も国や県の動向を注視しながら、個人情報などセキュ リティの観点をクリアした上で可能な分野についてはリモー トワークができる体制を整備していきたい。

#### 💽 移住定住補助関係の実績は?

昨年度の空き家除去支援事業、空き家改修支援事業、定住 促進対策新築住宅補助の実績は。

#### 3事業合計で7件、815.4万円

空き家除去支援事業は砂子原と一王町の2件で合計100万円。 空き家改修支援事業は、桐ヶ丘と軽井沢の2件で合計115.4 万円。

定住促進対策新築住宅補助は、大平町、安久津、一王町の 3件で合計600万円。

家財道具処分補助は申請が無かった。

#### 新規就農者の支援について

国の農業次世代人材投資資金と町の未来の農業を担う若者 応援給付金について詳細説明を。

また、実績報告は定期的に行っているようだが、報告書以 外での確認は行っているのか。

#### 安定して経営していけるようサポートしていく

元々は国の補助金からスタートした補助事業。年間150万 円支給されるが、生活基盤を安定させるため、町で毎年120 万円を追加補助しており、どちらも最長5年支給を受けるこ とができるが農業としての所得が上がれば補助率も下がって いく制度。

書類による確認のほかに、現地で作物の育成状況や農機具 の管理状況などを確認し、安定して経営していけるようサポ ートしている。

#### 天然の山菜・きのこの出荷解除に関する 現在の状況は?

原発事故以降、天然の山菜・きのこの出荷制限が続いてい るが、10年経った今の状態について教えてほしい。

# 基準を下回ったものから順次解除されていく

柳津町の地図を5kmメッシュに区切り検体を採取し、放射 性物質の基準値以下であることを確認できたものから品目ご とに解除していく。柳津町ではすでにマイタケが解除となっ ている。また、山菜はコシアブラ以外は解除されている。

#### 福柳苑の地盤沈下のその後について

ここ2年ほど測量や設計を実施しているが現状の説明を。

## 引き続き沈下状況を観察していく

沈下量の定点観測を1年間実施した結果、敷地造成工事に 盛土をした箇所に沈下がみられた。建物に影響があるような 大きな変化が見られないため、沈下した状態で安定したの か、沈下が続いているのか経過を観察している。

#### **「霊まつりへの補助金の使い道は?**

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため花火大 会が実施されず、灯籠流しのみの実施にもかかわらず約198 万円も補助している。内訳の説明を。

#### ナイアガラ花火の鉄塔修繕費用など

ナイアガラ花火に使用する鉄塔修繕費に88.9万円。その他 に花火大会は実施していないが、新型コロナ終息を願う花火 の打ち上げ経費や、まちなかに提灯を設置する費用などに充 てられた。

#### 備蓄倉庫の食料について

備蓄倉庫に備蓄されている食料品類で賞味期限が近くなっ た物の補充、入替をどのように行っているのか。昨年度の整 備状況は?

#### ローリングストック方式を採用している

昨年度は飲料水480本、ビスケット288缶、アルファ米250 食分を購入。ローリングストック方式を採用し計画的に整備 している。

本年度に賞味期限を迎えた分については9月に実施された 防災訓練時に配布している。来年度以降も防災訓練等を通じ て配布していきたい。

#### 納税貯蓄組合の現状は?

現在の組合の数、加入している人数は?また、ここ数年の 傾向は?

## 年々減少傾向にある

組合数と人数はそれぞれ令和2年度:29組合、880名、令 和3年度:24組合、739人。

組合数は年々減少傾向にある。原因として口座振替などを 利用する方が多くなってきている事と、組合長になる方の人 手不足の傾向がみられる。

#### 9月定例会審議議案 一主な議案ー

令和3年第3回9月定例会が、9月8日から15日までの8日間の会期で行われまし 今回の定例会では、 令和2年度歳入歳出決算認定や令和3年度補正予算、 条例の制 た。 3件の諮問に対する承諾、 定など17議案が審議され原案通り決定したほか、 4件の報 告が行われました。

# 《主な補正》

465万4千円を追加し、総

歳入歳出それぞれ

1億2,

補正予算

令和3年度柳津町

一般会計

計委託料

額41億1

297万7千円と

# -CT機器購入費 521万2千円

ントを増設。 を購入。 する大型ディスプレイ装置 にWi-Fiアクセスポイ 庁内のDX化を進めるため 会議等で使用

# 定住促進対策新築住宅補助 定住を促進するため、住宅 事業補助金 補助金を交付。 の新築に要する費用に対し 新たに2件 300万円

海外派遣事業補助金 分を追加。

柳津町商工会館外壁改修工 総工費600万円の3分の 柳津町商工会設立60周年を 事補助金 記念して行われる改修工事。 200万円

9月定例会補正予算

計

険

道

水

会

事業勘定

施設勘定

土地取得

般

国保

後 期 高 齢

介

簡

下

簡

護 保

易 水 道

町営スキー場

農業集落排水

水

易排

林業集落排水

計

特

别

会

計

# 策定を議決 過疎地域持続的発展計画の

に基づき策定。 の支援に関する特別措置法\_ れた「過疎地域の持続的発展 令和3年4月1日に施

となる。 100%について充当が可能 であり、返済額の70%が地方 交付税に算入される有利な地 万債) を利用することが可能 過疎対策事業債 本計画を策定することによ (町負担の

補正額

1億2,465万4千円

465万5千円

△2万5千円

△68万8千円

634万7千円

280万9千円

45万6千円

188万8千円

50万6千円

10万5千円

1億4,094万7千円

24万円

促進、 情報化、子育て環境の確保、 要な事項を追加した。 再生可能エネルギーの利用の 移住・定住・地域間交流の促 計画の新たな項目として、 人材育成、地域における 持続的発展に関して必

9月補正後

41億1,297万7千円

4億8,349万8千円

6,593万2千円

5,151万2千円

5億9,963万4千円

1億6,740万9千円

400万6千円

8,488万8千円

8,848万9千円

350万5千円

57億1,305万円

434万円

4,686万円

となったことによる減額。

新型コロナウイルス感染症

366万5千円減額

為に海外派遣事業が中止

旧運動公園温泉施設改修設 に改修するための設計委託 おこし協力隊が赤べこなど 旧運動公園温泉施設を地域 を作成する「赤べこ工房」 138万1千円 ため、 見込みを上回る申請があった 正予算を追加。町民の要望に 禍の巣ごもり需要により当初 いづくり支援事業」がコロナ 建設課で行っている「住ま

3名の人権擁護委員候補者 の推薦を承諾

菊地 名が令和3年12月31日をもっ て任期満了となるため、 長谷川 貴美子氏 (麻生) の3 韶子氏 (砂子原)、 富雄氏 (野老沢) 新

速やかに応えるため専決処分 新たに400万円の補 鈴木 新井田 ŋ<sub>°</sub> 新たな候補者は以下のとお

# 命に同意

幸子氏(砂子原 晴美氏(藤

貴美子氏(麻生)

)再

任

に上田 和3年9月30日をもって任期 任命することに同意。 満了となることに伴い、 二瓶 精一氏 伸博氏 (黒滝) (大平町) 新た が令

# 新たな教育委員会委員の任

# 住まいづくり支援事業への 追加予算を専決処分

承諾。 に推薦があった3名について

合

# こんなことを決めました 一審議一覧一

議案第79号 令和2年度柳津町歳入歳出決算認定について 原案認定 議案第74号 専決処分の承認を求めることについて 原案可決 福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例の制定 について 原案可決 議案第76号 柳津町税特別措置条例の一部を改正する条例について 原案可決 議案第77号 復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する 条例について 原案可決 議案第78号 過疎地域持続的発展計画の策定について 原案可決 議案第80号 令和3年度柳津町一般会計補正予算 原案可決 原案可決
議案第75号 福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例の制定について 原案可決   議案第76号 柳津町税特別措置条例の一部を改正する条例について 原案可決   後興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する   条例について   原案可決   議案第78号 過疎地域持続的発展計画の策定について   原案可決   原案可決   原案可決
議案第75号について原案可決議案第76号柳津町税特別措置条例の一部を改正する条例について原案可決議案第77号復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について原案可決議案第78号過疎地域持続的発展計画の策定について原案可決議案第80号令和3年度柳津町一般会計補正予算原案可決
議案第77号 復興産業集積区域における町税の特例に関する条例の一部を改正する 条例について 原案可決 議案第78号 過疎地域持続的発展計画の策定について 原案可決
議案第77号       条例について       原案可決         議案第78号       過疎地域持続的発展計画の策定について       原案可決         議案第80号       令和3年度柳津町一般会計補正予算       原案可決
議案第80号 令和3年度柳津町一般会計補正予算 原案可決
業安等 Q 1 只
議案第81号
議案第82号 令和3年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算 原案可決
議案第83号 令和3年度柳津町介護保険特別会計補正予算 原案可決
議案第84号 令和3年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算 原案可決
議案第85号 令和3年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算 原案可決
議案第86号 令和3年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算 原案可決
議案第87号 令和3年度柳津町下水道事業特別会計補正予算 原案可決
議案第88号 令和3年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算 原案可決
議案第89号 令和3年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算 原案可決
議案第90号 教育委員会委員の任命同意について 原案同意
諮問第 1号 人権擁護委員候補者の推薦について 原案承諾
諮問第 2号 人権擁護委員候補者の推薦について 原案承諾
諮問第 3号 人権擁護委員候補者の推薦について 原案承諾
報告第 5号 専決処分の報告について -
報告第 6号 一般財団法人やないづ振興公社経営状況報告について -
報告第 7号 地方公共団体の財政の健全性に関する比率の報告について -
報告第 8号 会津若松地方土地開発公社経営状況及び清算結了について -

#### 亮議員 6番 松村

#### ちづ 民官一体の ま < ŋ につい

がどう考えるか。 をはじめとするソフト事業の 同補助金以外に見当たらない **充実・支援が必要」とあるが** 心市街地の活性化や助成制度 ②第6次柳津町振興計画の 「新たな産業の創出、中

等の実績について伺う。

成30年7月以降の件数、 設立に至った経緯・趣旨と平

内容

費補助金」があるが、本制度

り組む町民等を対象とした で個性豊かな地域づくりに取

柳津町地域づくり推進事業

Q

活性化を図り、

独創的 地域の

①当町には、

これまで完了した事業は、

性豊かな地域づくりに取り組 定後に取り下げられている。 今年度は2件採択。1件は現 としている。 む町民を支援することを目的 度を開始した。制度の趣旨は、 基金を設立し、 解散したことに伴い、 在実施中。もう1件は交付決 元年度1件、令和2年度1件。 の特色を生かした独創的、個 原資に柳津町地域づくり推進 の拠出金が返還され、これを 圏協議会が、平成30年4月に 伝統、文化及び産業等 あいづふるさと市町村 (町長) ①同補助金は、 採択件数は令和 同年7月に制 基金へ

> 購入による伝統行事の継承活 どぶろくの製造機器の導入に 動に役立てられている。 よる地域の活性化や和太鼓の

を進めてまいりたい。 ら、 を推進するため、 域が一体となったまちづくり 援を行っている。 業補助金などを、 補助制度としては、 や補助金の制度を拡充しなが 誘客事業補助金等により地域 や内容等に応じた各種の助成 の活性化に向けた取組への支 けには、 や小規模事業者後継者支援事 人向け起業者支援事業補助金 ②地域活性化を目的とする 住民や企業活動の後押し 商店街活性化事業や 支援の対象 また団体向 今後も、 ほかに個 地

的な内容は。 Q 件が1件あるが、 取り下げになった案 具体

P R 申請前に申請団体のお手伝い 併せて、販売したいという話 Tシャツを作成して着用し、 をしたいと考え、 を伺っていた。新年度に入り、 プロモーション専門家に相 するためにオリジナルの 年度より地域の祭りを (みらい創生課長) 4月に地域 昨

> が、7月下旬に事業の取下げ 申請を受理し交付を決定した 談やアドバイスをいただく機 会を設けた。その後、7月に

入れたのか。

まだまだどういうことをやっ

みらい創生課ができて半年

止めている。

たということを私は重く受け

ているかというのが見えてい

ため、 様々な知見をいただいた。 モーション専門家を交え、 にするために、 その目的を更に効果的 (みらい創生課長)今 関係者とプロ

が、どういう原因が考えられ るか。 る。 に申請が7月まで延びている いたのかどうか大変疑問があ 昨年から相談があったの すると、それを求めて 申請団体の立場から

ている。 申請時期が先送りされてしま いる。 Tシャツの製作が秋以降にな った事が要因の1つと理解 や認識の行き違いなどがあり、 るとの理由で取り下げられて 申請団体と町との情報 口 (みらい創生課長)今 の取下げについは、

を受理した。 件が、

いんだ」と町に持ってきた案

ういう事をやってみた

せっかく町民の「こ

取下げになってしまっ

Q

Q 性のない専門家を間に なぜ申請団体と関連

回の目的が明快だった

り、現時点で必要だと思うこ

が様々な事業を進めるに当た ない。この先、みらい創生課

とが大切であるということ。 そのためには、地域が開かれ りにとって未来志向でチャレ 中で感じたことは、まちづく ンジに寛容な地域をつくるこ な方と対話させていただいた ている。これまで地域の様 もなく6か月が過ぎようとし たな課が誕生して、 (みらい創生課長) 間新 々

ししていきたい。 域の皆様のチャレンジを後押 の今と未来を見据えながら地 地域の皆様の声を集めて地域 ていくと考えている。 が大事だと思っており、 やしていくことが前提になっ の皆様によるチャレンジを増 ていること、多様であること 今後も、 地域

## ナウイルス感染拡大影響に 体力面は 学校教育の取組、 考え方につい



7番 田﨑信二議員

限や生活スタイルの変化によが、学習進捗の影響、運動制

大が続く中で新学期を迎えた

ロナウイルスの感染拡

新型コ

る影響がないのか伺う。

の向上に努めていく。 教育活動を行い、学力、 供たちにとってより充実した 染対策をさらに徹底して、子 と判断している。各学校で感 ては大きな影響は出ていない 教育長) 体力の両面についれ育長)現時点で学

が、 テストが2年ぶりに行われた年が対象の全国学力 Q その結果は。 小学6年生と中学3

状況。 各学校で学習指導に取り組ん 時に力が発揮できるように、 ナ禍の影響かは判断しづらい ただし、この傾向はここ数年 平均を下回る教科が若干ある。 同様の傾向にあり、コロ できるだけ学力テスト 0) 結果は全国平均、県 教育長)学力テスト

うに授業改善などに取り組ん でいくのか。 力向上に向けてどのよ 児童生徒の学

> り組ませていきたい。 これに対してもしっかりと取 答えてしまう傾向があるので、 た、 っかりと取り組ませたい。ま ブレットも導入したので、 かり書く、そういう活動をし ブレットに自分の考えをしっ べないという傾向がある。 記述式の問題に無回答で 分の考えを積極的に述

では影響が出ていないか。が見られたというが、小中校 が見られたというが、 らされ幅広い年代で体力低下 等により運動機会が減体力面では行動自粛

てい

ように今後も各学校へ指導し を家庭と連携して適切に行う 児童生徒の健康面での課題の

必要な指導・対応など

進地域の取組状況等の情報収携や協力可能な指導者の発掘設する場合、周辺町村との連設する場合、周辺町村との連設する場合、周辺町村との連

集を行っていきたい。

することになる。また、生徒合は外部指導者の登用を検討より専門的な指導が難しい場

しかし、教職員の異動などに 充実した活動ができている。 少年団の指導者の協力により

離走や持久走に課題のある学国平均を上回っている。短距 組んでいる。中学校も同様に間を使って走力アップに取り うな傾向が続いて る。コロナ禍以前から同じよ 走力が全国平均を下回ってい 年が若干あり、 校では多くの学年や種目で全 県平均と比較して、小学令和元年度までの全国平 運動能力検査の結果で (教育長) 現在、 全国体力・ 、休み時

> 夢を叶えてやるのも必要では 子供たちの将来を見据えて、

うことを指導していく。 での規程をしっかり守って使 なのかは判断が難しい。 ゲーム機等の影響によるもの によるものなのか、家庭での が学校でのタブレットの使用 低下傾向にある。これ (教育長) 視力は若干 校内

登用し、 について、外部より指導者を む中、中学校の部活動②近年、少子化が進 生徒の可能性を伸ば

人1台のデジタル端末を配

取組として小中学校へ

①町は県内でも早い

健康面等に影響がないの 学習等に活用している

なかなか自 各学校では、定期的に視力検 響が心配される。各学校での 査や体重測定を行っており、 の推進がさらに必要になる。 でのメディア・コントロール ICT利用規程の遵守、 い児童生徒の健康への影

懸念がある。 方で、 けた期待感が膨らんでいる一 ちのICTに対する将来に向 視力への影響について で有効活用され子供た タブレットが授業等 視力検査の結果

専門指導員を採用している。 的な指導員が必要ではないか。 近隣では会津若松市が6名の のためにもやはり専門 技術のレベルアップ

多い両沼西部では、今後部活料にしている。小さい町村が後に生かせるかどうか検討材 がるような組織を今後とも考たちの要望、様々な夢につな かが大きな課題であり、三動をどのように維持して、 の状況については、 (教育長) 会津若松 子供 いく 今

か伺う。

の活用の頻度が上がる

部があり、

教職員やスポーツ

家庭

(教育長) ICT機器

いか。すための取組をすべきではな

校には3つの常設運動(教育長)現在、中学

2番 新井田順一議員

# 童、生徒の安全保持は 包围定

ていく。 な感染症対策について継続的 ら、ワクチン接種後も基本的 様々な事情により接種できな と連携し、 おり、今後も引き続き、家庭 が示すマニュアルやガイドラ 保育所や各学校でも関係機関 に実践していただくよう、広 い方もいる。こうしたことか 種は、強制ではなく、年齢や ぼ完了している。しかし、接 する町民への2回の接種がほ う取り組んできた結果、希望 インに基づいた対応を行って 報紙等を活用し周知していく。 ての方が早期に接種できるよ 〔町長〕町では12歳以 の接種を希望する全 感染予防を徹底し

当町での点検結果について伺 突っ込み児童5人が死傷する 施について通知があったが、 省から通学路の合同点検の実 事故が発生し、その後、文科 Q 学生の列にトラックが ②千葉県八街市で小 自然公園編

係機関に対し要望を行う予定。 に配慮しながら、学校、教育 域住民の理解を得た上で、 に対策案を検討・作成し、 施する。その後、 署で9月24日に合同点検を実 委員会、道路管理者及び警察 受けて児童生徒の視点 (町長)今回の通知を 10月末まで 地

局の対応を伺う。

が残っている。改めて関係部 まだ未接種の方、児童、幼児 接種は順調に進捗しているが、

ナウイルスのワクチン

①当町では新型コロ

う。

Q

うに活用しているのか。 検は非常に具体性があって、 いる。この点検結果をどのよ 番詳しいデータだと思って ている通学路の安全点 学校、 P T A が行っ

もと、要望をおこない改善し 警察署や建設事務所の指導の 坂野鴇巣地内や細越根柄巻地 要望をしている。今までの実 機などが設置された。今後も 績として国道252号線の八 ラムを作成し、順次、点検・ ていきたい。 内で歩道やバス乗り場、 から通学路交通プログ (教育課長) 平成25年

われる栄養の偏りや食事環境 Q いる「食の貧困」と言 ③近年、注目されて

> 町の現状と課題について答弁 を求める。 ているという問題がある。 が原因で体や心の成長を妨げ 当

共に連携を図り、 に関する正しい知識を身につ 引き続き、幼少期から「食」 子供たちの健康を守るため、 を町と学校、そして、家庭が け、「食」を大切にする食育 施している。将来の町を担う 心身の発達に応じた食育を実 幼児期、 (町長) 町の食育の実

理解できたが、食育の恩恵を 育委員会で把握しているのか。 はないかと心配している。 受けていない子供がいるので げてやっていることは 食育について町を挙

内容だと考えている。 ながりかねないデリケートな に対する非協力的な姿勢につ 渉と受け取られ、学校や担任 な質問は、 行っているが、あまり直接的 に関するアンケートも (教育課長) 家庭生活 家庭生活への過干

スケジュール的に厳しくなる。

名称変更を議題とした場合、

したがって名称変更の可能性

施状況として、乳児期 学童期にそれぞれの 取り組んで

ر د ۲

望すべきと思うが。

国定公園」として残すよう要 る。町は「越後三山只見柳津 消えてしまうと不安の声があ

より「柳津」の文字が

国定公園への編入に

度の編入を目指しているため、 するものであること、只見線 よりも上位であり全国的にも 理由としては、県立自然公園 名称について県に確認したが、 の再開通に合わせて令和3年 知名度が高い国定公園に編入 ついては議題とされていない。 編入計画当初から名称変更に 秋にも編入が認められる予定。 審議会で審議されており、 園への編入に向け国の (町長) 現在、 国定公

という解釈でよいのか。 把握は行っていない

いきたい。 いては、今後、行って (教育課長) 把握につ

A

はない。

としては要望活動を行う考え はないとのことなので、当町

# 県町村議会議員研修会

10月20日 (水) 福島市のとうほう・みんなの 文化センターにおいて、県町村議会議員研修会が 開催されました。緊急事態宣言は解除されたもの のコロナ禍の中での開催ということで座席の間隔 を空けるなど新型コロナウイルス感染症予防対策 を取りながらの開催となりました。

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健氏による「住民から信頼される議会になろ う!」、ジャーナリスト 長谷川 幸洋氏による 「今後の政局・政治展望」をテーマとした講義が 行われました。





# 12月8日(水)~12月10日(金) 午前10時開会

初日は、町政に対し議員が一般質問を行います。 また、第4回定例会は、『第4回赤べこ議会』です。 議会議員及び町職員が真っ赤な赤べこのはっぴを 身にまとい、『赤べこ発祥の地』をPRします。 赤べこ伝説にあやかり、新型コロナウイルス感染 症の早期終息を祈願し、そして町民に福を運ぶ議 会にしていきたいと思いますので、皆さん是非、 傍聴においでください。



# 議会録画映像のお知らせ

一般質問の映像を、町のホームページから 視聴することができます。

柳津町 柳津町議会 ホームペ

スマホゃタブレット端末からも、 見ることができます!



2回目が終り、

町民の皆さ

よりも早くワクチン接種の

なか我が町は、

他の市町村

対策が思うようにいかない 国のコロナウイルス感染症

生産、また飲み薬もできる

から国でもワクチンの国内

る事と思います。

でもこれ

んも安心感を持っておられ

との事です。



「議会の傍聴になかなか行けない」という方は、 お手元の端末からご覧ください。

委 員 員 長 委 員 長 新井 磯 鈴 松齋 Ħ 村 藤 田 木 正吉順泰

亮志信一彦

思います。

いづ議会だよりに編集でき ができ、重みのある、やな 私達議員が前のように活動 たたかくお過ごし下さい。 寒さも厳しくなります。 るよう努めてまいりたいと これから、秋から冬へと 来年はコロナが終息し、 鈴木吉信 あ

ウイルス感染症の影 響を受け、 今年も新型コロ いつもど

のは大変残念に思います。

おりの活動ができなかった